

*21st International Congress on Acoustics
165th meeting of the Acoustical Society of America
52nd meeting of the Canadian Acoustical Association*

*2-7 June 2013
Montréal, Canada*

今回は、博士前期課程2年 樋永元孝と山田 龍也が参加させていただきました ICA2013 in Montreal について報告させていただきます。

ICA とは , International Congress on Acousticsの略で音響に関する大規模な学会になります. 3年に1度開催され, 次回の開催地はアルゼンチンのブエノスアイレスに決定しています.

今回私たちは, 口頭発表で参加をしてまいりました. 学生2人だけの旅ということで不安も期待もありましたが, 生の英語を体感するため学会での発表以外にもさまざまなことに挑戦してきました.



カナダに行くならもちろん航空会社はエアカナダ. 宇部空港を出発してモントリオールに到着するまで約21時間の時間を要します.

ホテルはなんとルームシェア. 私たちの部屋以外にもう一つベッドルームがありそれ以外は共用です. 私たちが滞在している間に3回も新しいルームメイトに会いました.





そして学会へ。今回の学会の会場は、Palais des congrès de Montreal (国際会議場)!!

施設内には、駅・郵便局・美容室・レストラン・コンビニといったさまざまなお店があり、とても過ごしやすい会場でした。

会場では、民族衣装に身を包んだ人たちがオープニングセレモニーのある会場まで案内してくれました。カナダの人たちは、みんな陽気でとても話やすく警察の人でさえカメラを向けると笑顔で答えてくれます。



右の写真はオープングレセプションの様子。オープングレセプションでは、たくさんの方が参加している様子がわかると思います。しかし、これもまだ参加者の一部。国際学会ともあり世界中の様々な国の方が参加していました。

カナダでは、ワインが有名ということもあり、多くの方がワインを片手に談笑していました。

*Welcoming Reception**Concert*

音響系の学会であるためか、学会のイベントは教会でのオーケストラ演奏、パイプオルガンの演奏も行われ、とても美しい教会で生の演奏を聴くという貴重な経験ができました。

フォーマルな格好で来るようにと注意があったのでスーツを着ていきましたが、スーツを着ている人はほとんどいませんでした。ここでも、国民性の違いを体感!!



～山田の発表～

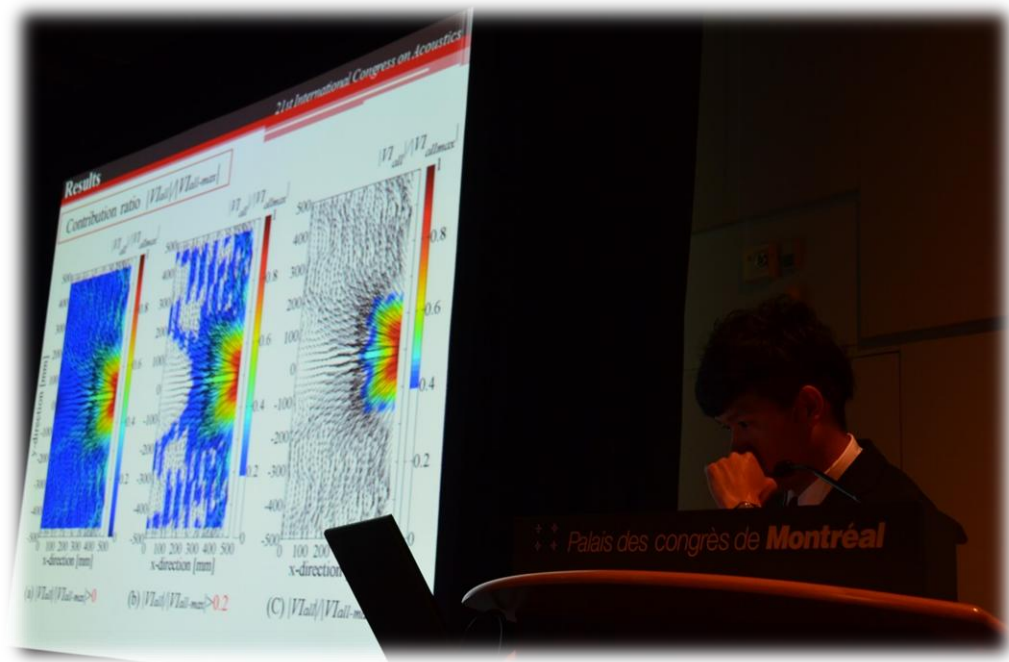
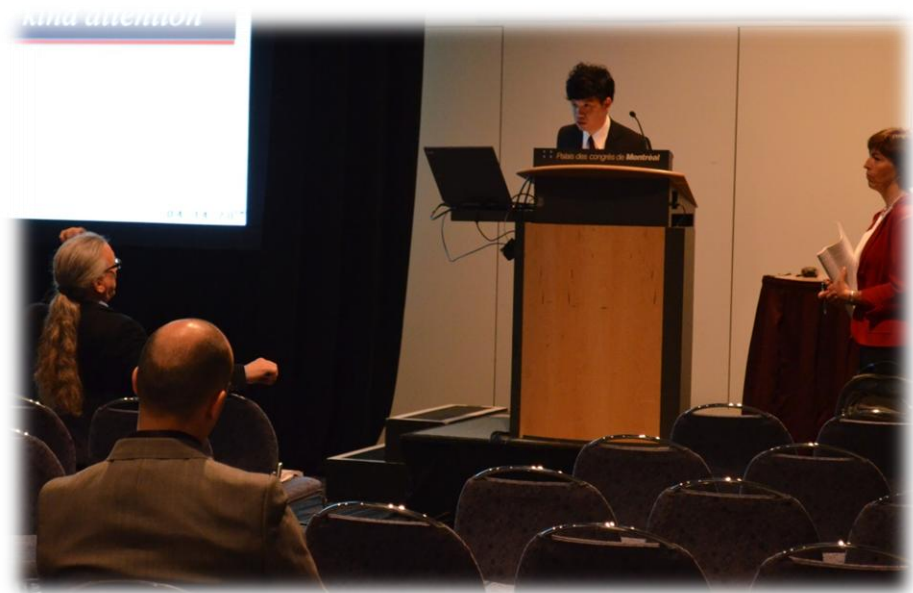
山田のセッションでは日本人が多かったためか、質問やコメントの無い発表がほとんどでしたが、自身の発表時にはネイティブの方から質問をいただくことができました。発表は練習通りでしたが、いざ英語で質問を受けると頭が真っ白になってしまいました...が、何度か聞き返したりしながらなんとか答えることができました。あとからその方とディスカッションをさせていただき、非常に良い経験をしました。

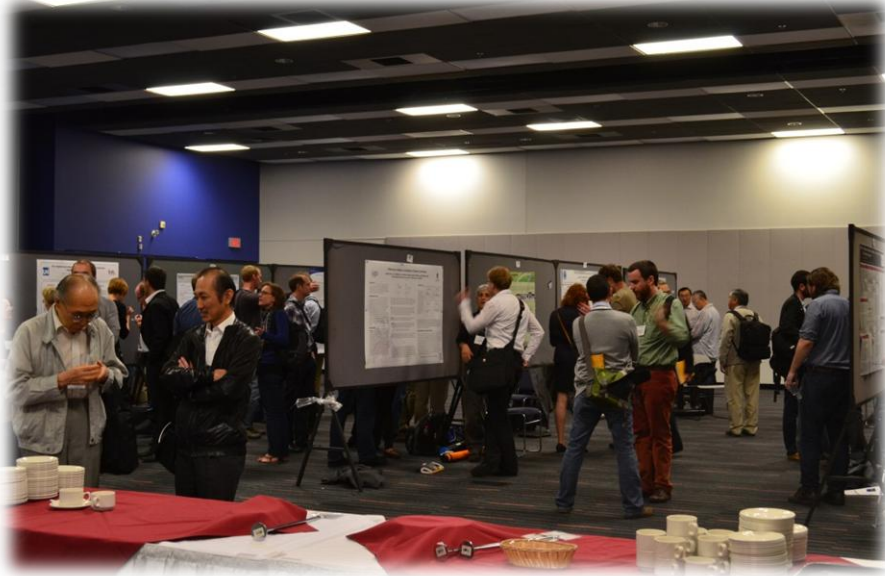




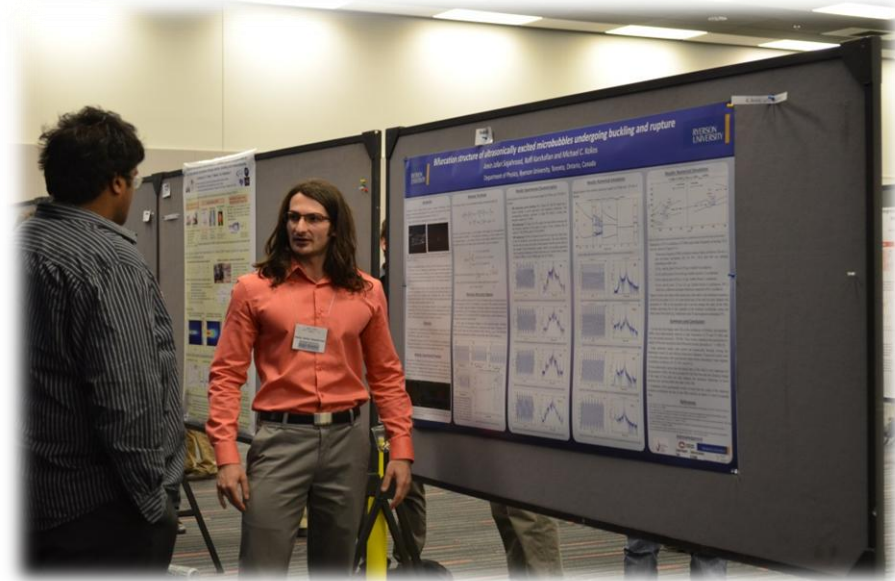
～樋永の発表～

セッションが始まる前にチェアマンへのあいさつもすませ、他の人の発表を聞きながら待機。セッションの最後の発表者だったため、発表まで3時間ほど待ちました！初めての英語での発表は、研究室でのミーティングとは全くの別物で練習してきたことを100%出し切れたとは言えませんが、無事発表を終えることができよかったです。質問も3人の方から頂き、チェアマンの助けを借りながらなんとか回答することができました。





学会では、私たちが参加したオーラルセッション以外にも、ポスターセッションや、音響・振動関係の様々な企業の展示もあり、積極的に参加しました。日本の大学の学生や先生、またカナダ滞在中に知り合った方々の研究を拝見しましたが、その多くは医学系のものでした。面白そうなものが多かったのですが、機械工学を専攻する私たちにとっては少し難しかったです。





Smoked meat

Buffet



Beefsteak



Chinese food

カナダには多くの人種の方がいらっ
 しゃり、料理も中華料理やイタリアン、
 日本食など、いろいろなレストランが
 ありました。私たちが行ったレストラ
 ンの多くは、1枚のお皿に料理をす
 べてのせてありました。おかずごと
 にお皿を分ける日本人とは違い、豪
 快でした。また、どこのお店の料理
 も量が多かったです。ここでも日本
 との文化の違いを感じました。

その他にもカナダのビールを飲んだり，チーズとワインを飲んだり，後半にはスーパーで買ったピザを焼いて食べたりして，まるで現地民です．そして，カナダで食べたごはんの中で最もおいしかったものは**チョコレートのマフィン**でした!!ホテルに隣接するコンビニで1ドル程度と安くボリュームもあるため毎日のように食べていました!カナダの料理は基本的に量が多いので，3人で料理2つを頼む程度がちょうどよいのではと思います．



Muffin



Poutine



Pizza

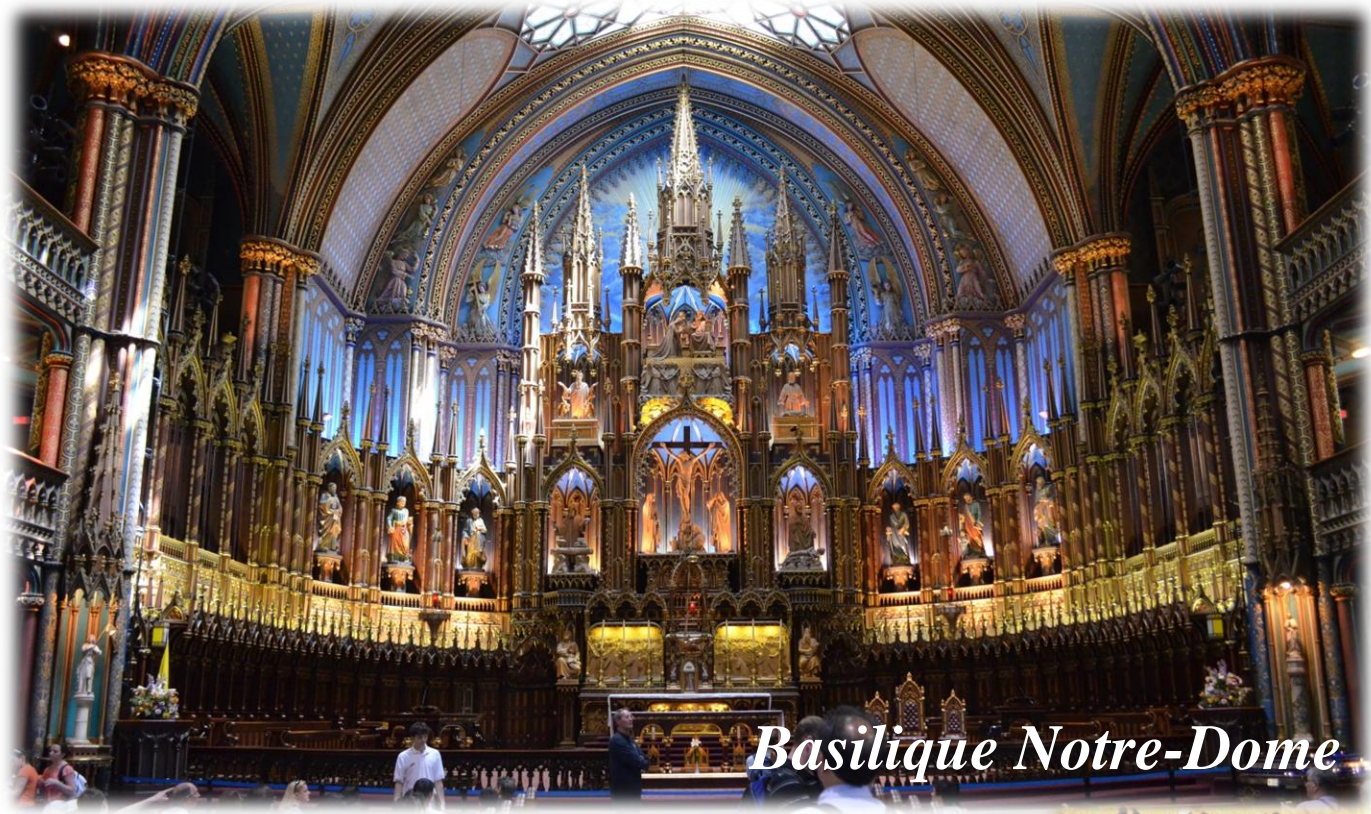


Buffet



Beer

モントリオールの町は、高層ビルなどの近代的な建物と、教会などといった古典的な建物、そして自然の3つが混ざり合ったとても美しい町でした。教会には、基本的に無料で入ることができ、撮影も可能です。モントリオール大聖堂などは、ほんとうにこの世のものなのかと思うほどきれいでした。



Basilique Notre-Dome



Chapelle Notre-Dome-de-Bon-Secours



Saint Jean Baptiste Church





Oratoire St-Joseph



Plateau-Mont-Royal

Parc du Mont-Royal



学会の空き時間を利用して、モンリオールを散策しました。街並みはとにかくおしゃれで少しくらやましくなりました。礼拝堂や自然公園はとても広く、日本の観光スポットとのスケールの違いに驚きました。この散策中にも現地の方々や他国からの観光客の方々と交流することができ、貴重な経験をすることができました。



自然公園では野生のリスにも遭遇しました。リスは人になついていて餌をもらいに近寄ってくると聞いていましたが、実際は逃げられるばかり...

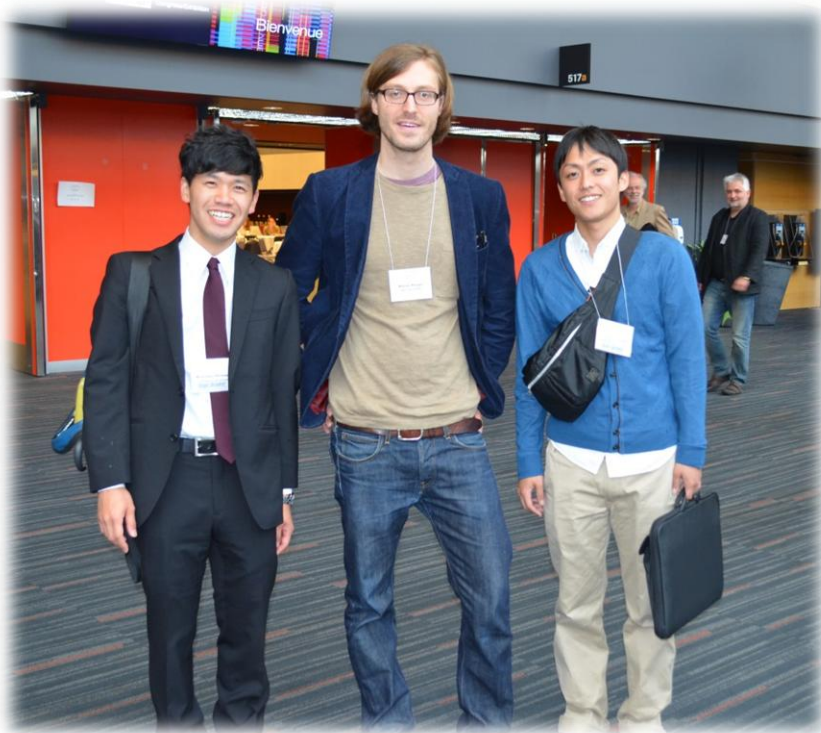
モントリオールではバスや地下鉄など、交通機関が発達していますが、自転車の利用者数が非常に多かったです。場所によっては自転車専用の道路もありました。

左の写真はこう見えてショッピングセンターです。おしゃれ!!



Bonsecours Market

学会では、日本人以外の方ともたくさんお話しして仲良くなることができました。仲良くなった人の発表を聞きに行ったり、逆に聞きに来てくれたり、一緒に食事をする中で仲良くなったりとたくさんのお会いがありました。英語を話すスピードが速くあまり聞き取れなくても何度かやり取りすることで楽しい会話ができました。みなさん予定があるようで、一緒に飲みに行くことはできませんでした。残念！





学会以外でも観光中にたくさんの人と仲良くなりました。モントリオールは交通の便がよく、地下鉄・バス・タクシー・徒歩を駆使することでどこへでも行けます。レンタルサイクルも町中に設置されていて、同じ場所に返す必要がないので便利です。せっかくの機会なので毎日アクティブに活動し、地球の歩き方に書いてある観光地は制覇しました。もちろん学会にも毎日参加していましたよ!!

国際学会参加にあたり、英語の大切さを身をもって感じました。

モントリオールでは、公用語ではフランス語を使用しますが、状況に応じて英語も使用できます。学会で知り合った方々の多くも母国語に加え英語も話すことができ、英語を話せることが当然の世界になっていることを感じました。

学会発表を考えている人は、ぜひ国際学会へ参加し、海外へ足を運んでみてください。そして、世界の広さを体感してください。日本にいたるだけでは決して味わうことのできない経験は、これまで培ってきた自身の当たり前を打ち崩し、新たな自分に成長させてくれるはずです。

幸いなことに、私たちの研究室にはたくさんの留学生が在籍しており、英語でコミュニケーションを図る機会が多くあります。この環境を利用し、まずは英語に対する苦手意識を払拭しましょう。そうすると、いざ海外に行ったときにさほど困ることもないでしょう。

大切なのは、自分の思いや考えを伝えようとする気持ちです。一度で伝えることができなければ、何度も会話を重ねればよいだけのことです。皆さんも国際学会という舞台を通して、ぜひ新しいことに挑戦してみてはいかがでしょうか？

最後に、三上先生・瀬尾先生

このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。